

児童生徒のラーケーション活用状況について

1 県内の活用状況(集計:R6.7.16現在)

小中学校等

	小学校	中学校	義務教育学校	計(件)
6月末	5,849	1,301	414	7,564

高等学校等

	高等学校	附属中学校	中等教育学校	計(件)
6月末	897	45	68	1,010

2 活用事例

小中学校等

- ・県内博物館等のバックヤード見学
- ・能登半島被災地ボランティア
- ・日本100名城巡り
- ・短期ホームステイによる英語留学
- ・スペインを訪れピカソの絵を鑑賞
- ・将来についての家族との対話

高等学校等

- ・遠方の大学のオープンキャンパスや体験学習会への参加
- ・生物部での研究に必要な蝶の採集
- ・裁判の傍聴
- ・家族の仕事の見学及び体験
- ・タイでの異文化体験
- ・農業体験

3 児童生徒・保護者の声

【児童生徒】

- ・平日に家族で体験活動ができることは、思ったより新鮮な感じがした。
- ・欠席を気にせずに将来につながる活動ができて良かった。
- ・博物館が混雑しておらず、じっくり見学することができた。

【保護者】

- ・子供と同じ目的を共有し、行動できたことが良かった。
- ・久しぶりに親子で楽しい時間を過ごし、我が子の成長を感じることができた。
- ・大学周辺の様子など、進学後の子供の住居を決める際に親として知っておきたい情報を子供とともに確認できた。